

発行所 全日本建設交運一般労働組合
栃木県本部 〒327-0315
栃木県佐野市吉水駅前1-2-1
0283-62-7312 fax 0283-62-7318
http://www.dumptcg.org/
E-mail:kenkourou@dumptcg.org

CTG ぎ 建交労 とちぎ

戦争する国にしない市民のネットワーク 6月佐野市内で集会パレード決定

平和憲法9条を守ろう

安倍内閣は昨年、日本が直接武力による攻撃を受けなくても「密接な関係にある国」(米国)が攻撃されれば一緒に武力行使する「集団的自衛権行使」を閣議決定し、いよいよ本格的な「戦争準備」に入ろうとしています。戦後七〇年の今年、日本を「戦争のできる国」にするため、五月以降様々な「戦争立法」を国会で成立させようとしています。

栃木ダンプ支部、フコックス支部の加盟する安足地域労連では、毎週金曜日、様々な民主団体で構成する「戦争する国にしない市民のネットワーク」の宣伝行動に参加し、いままで共同行動に取り組んだことのない団体とも「戦争反対」の一点で共闘をすすめています。

四月十八日(土)には、佐野イオン前で二時間にわたる宣伝行動を佐野地区労のみなさんと初めて共同で行いました。ダンプ支部山内書記長は「自民党のマスコミ対策によってニュースを見ても問題の本質がわかりにくくなっている。いまこそ歴史に学び市民が危機感をもつことが必要では」と訴えました。

六月一四日(日)には、関係団体が結集し市内でパレードを行うことも決定しました。



「戦争はゴメンだ！市民パレード」
・日時 6月14日(日)13:30～集会
14:30～パレード
・場所 佐野駅南口「パルポート広場」

全国各地で地域から声をあげる取り組みがはじまっています。多くの組合員の参加を呼びかけます。



3月中央集会に参加した県本部組合員

年金学習会・盗難対策も 関東ダンプ総会開かれる

四月十九日、戸田市文化会館で関東ダンプ協議会定期総会が開かれ、各支部代表ら五十人が参加しました。今年の総会では、組合員の切実な問題になっていく年金問題と車両盗難対策の学習会を行いました。年金学習会では高橋事務局長が「無年金の仲間が増えており今後さらに深刻な状況が予想される」と指摘し、「今年九月までは一〇年分遡って保険料を納められる」と特例措置などを説明しました。



やはり深刻な問題になっている車両盗難については、矢具野副議長が最近の事例と具体的な対策を紹介し「100%大丈夫という方法はない」と警戒を強めるよう呼びかけました。

今年も開催日曜健診

三月二十九日(日)、恒例の日曜健康診断会を組合事務所で行いました。二十七人が参加。年々病気によって廃業に追い込まれる組合員が増えていきます。早期発見、治療が大切とはわかっていても、自覚症状のない段階で平日仕事を休んで病院に行く人はまだ少数です。

組合では毎年費用を補助して自己負担四千円で日曜健診を行っています。今年仲間とはじめて参加した板倉保明さんから「ダンプと一緒に定期検診すれば金がかんねえよ」とわかりやすいコメントをいただきました。



砕石組合「法令違反は許されない」

業界紙によると、栃木県砕石工業協同組合は三月二十四日、二十七日、関東各地の生コン協同組合を訪問しダンプ積載量適正化について協力依頼をしたとのこと。「積荷を減らし業界の悪しき慣習と決別し安全輸送に努める」「事業継続するうえで法令違反は許されない。業界自ら法令順守の徹底を図り、社会の信頼を得ることが重要」という砕石組合のコメントも紹介されています。何をいまさら。上がった砕石価格を適正にダンプに転嫁していただきたい。

今年一月～四月二〇日時点で組合新加入者数四〇人に。多くの組合員による紹介活動の結果です。心から御礼申し上げます。五年ぶりの六五〇人(ダンプ支部)復活まであと五人。なんとしても達成を。

依然としてダンプなど車両の盗難が続いています。自宅敷地内から盗まれたケースも発生。2重3重の対策が必要です。